

神経膠腫（グリオーマ）に対する様々な臨床試験、治験、先進医療を用いた臨床研究を行っています。

## 神経膠腫（グリオーマ）に対する治療について

神経膠腫（グリオーマ）に対する治療は、これまでは病理組織分類、WHO グレードに応じて様々な試みがなされ、その中から「標準治療」とされる放射線療法や化学療法が確立されてきました。さらに最近では種々の腫瘍の特徴的な遺伝子変異が同定され、治療への反応性などの臨床経過ともよく関連することから、従来の病理組織分類に遺伝子分類を組み込んだ新たな分類方法が考案されるに至りました。このようなそれぞれの患者さんに応じた治療を行うための腫瘍遺伝子変異の検査は未だ保険診療としては認められておらず、一施設で行うことは困難です。このため、当教室では他施設と協力し臨床研究として実施しています。

また当教室では、標準治療のみでは治療困難な神経膠腫、特に悪性神経膠腫に対する新たなテーラーメイド治療を患者さんに提供するため、様々な臨床試験、治験、先進医療を用いた臨床研究に参加しています。これらには新しい治療薬とそれらを行う前提としての新しい PET 検査が含まれています。現在すでに開始されている臨床試験、先進医療について記載しました。更に詳細な情報については、当科の香川、有田、藤本にご相談下さい。

## 膠芽腫

- ・初発膠芽腫におけるギリアデル留置及び 再発膠芽腫に対するギリアデル再留置の有効性と安全性を探索する臨床第 II 相試験（Gateway）
- ・再発膠芽腫に対する用量強化テモゾロミド+ベバシズマブ逐次併用療法をベバシズマブ療法と比較する多施設共同ランダム化第 III 相試験（JCOG1308C）
- ・高齢者膠芽腫に対する MGMT メチル化を指標とした個別化治療多施設共同第 II 相試験（EGG trial）

## 退形成性神経膠腫

- ・初発退形成性神経膠腫に対する術後塩酸ニムスチン（ACNU）化学放射線療法先行再発時テモゾロミド化学療法をテモゾロミド化学放射線療法と比較するランダム化第 III 相試験（JCOG1016）

## 新規 PET 検査

- ・先進医療:炭素 11 標識メチオニンによる PET 診断-放射線治療後の再発の検出-（先進医療を用いた臨床研究）

・先進医療：炭素 11 標識メチオニンによる PET 診断－神経膠腫を疑われた患者における有用性－（先進医療を用いた臨床研究）

その他新規薬剤を用いた膠芽腫、小児神経膠腫に対する幾つかの治験も行っています。